

# 京都府地域創生戦略(中間案)からの主な修正点

資料2

## ●パブリックコメント等の意見を踏まえた修正案

	パブリックコメント等の意見	京都府地域創生戦略中間案の記載	修正案
1	「多様な主体との連携」や「民間資金の活用」について、「地域創生実現のための府民協働の更なる推進」部分で記述すべきではないか。	◆地域創生実現のための府民協働の更なる推進 …府民と連携・協働しながら地域に根ざした絆や資源を生かした取組を進めることにより、地域が活性化する仕組みづくりなど、府民協働を更に推進する。 (2頁)	◆地域創生実現のための府民協働の更なる推進 …府民と連携・協働しながら地域に根ざした絆や資源を生かした取組を進めることによる地域が活性化する仕組みづくりや、民間資金の活用も含めた企業、大学、研究機関など多様な主体との連携・協働など、府民協働を更に推進する。 (2頁)
2	すべての町村において、少子高齢化・人口減少に対応した地域創生の取組をより一層推進していくためには、特に、地域創生の効果が発現しにくい地域の状況を十分分析し、必要な施策を実施するとともに、町村の取組をきめ細かく支援していくことが重要と考える。そうした趣旨を第2期戦略に明記いただきたい。	◆市町村や多様な主体との緊密な連携 各市町村は、…戦略の策定・推進に取り組むこととし、府は、施策の実効性を向上させるため、広域的見地から市町村をはじめ企業、大学、研究機関など多様な主体との連携・協働、…さらには地域の魅力を活かした広域的な交流圏づくりに取り組むものとする。 また、施策推進のための財源については、民間資金の活用も含め検討を進めていくものとする。 (2頁)	◆市町村との緊密な連携 各市町村は、…戦略の策定・推進に取り組むこととし、府は、施策の実効性を向上させるため、 <b>小規模市町村の補完・支援</b> や広域的見地から <u>の</u> 市町村との連携・協働、…さらには地域の魅力を活かした広域的な交流圏づくりに取り組むものとする。 (2頁)
3		◆PDCAサイクルの確立 各基本目標における数値目標、重要業績評価指標(KPI)に基づき、取組の効果を毎年客観的に検証し、社会経済情勢や府内の状況変化に対応した戦略の見直しを行い、絶え間なく施策のイノベーションに取り組む。  (2頁)	◆PDCAサイクルの確立 各基本目標における数値目標、重要業績評価指標(KPI)に基づき、取組の効果を毎年客観的に検証し、 <b>府内全ての地域で取組の効果が現れるよう</b> 、社会経済情勢や府内の状況変化に対応した戦略の見直しを行い、絶え間なく施策のイノベーションに取り組む。  (2頁)

	パブリックコメント等の意見	京都府地域創生戦略中間案の記載	修正案
4	新学習指導要領の全面実施を見据えると、今後、子どもたちの教育における英語教育の強化が重要になるのではないかと。	基本目標1 結婚・出産・子育ての希望がかなう、子育てにやさしい社会をつくる 2 夢を実現する教育の推進 (1)新しい学びの創造と京都ならではの教育、魅力ある学校づくり (記載なし) (5頁)	基本目標1 結婚・出産・子育ての希望がかなう、子育てにやさしい社会をつくる 2 夢を実現する教育の推進 (1)新しい学びの創造と京都ならではの教育、魅力ある学校づくり <b>○「聞く」「読む」「話す」「書く」の英語4技能教育の強化</b> (5頁)
5	関西文化学術研究都市における先端技術の研究開発や新産業の創出を、基本目標2「1 地域の発展を支える産業の創造・成長」部分に追記すべきではないかと。	基本目標2 地域経済を活性化させ、仕事をつくる 1 地域の発展を支える産業の創造・成長 (1)中小企業・スタートアップ支援と新産業の創出 (記載なし) (6頁)	基本目標2 地域経済を活性化させ、仕事をつくる 1 地域の発展を支える産業の創造・成長 (1)中小企業・スタートアップ支援と新産業の創出 <b>○関西文化学術研究都市における次世代ロボット技術等の研究開発の推進や新産業の創出</b> (6頁)
6	農村地域の維持のためには、捕獲を始めとする有害鳥獣への対策が必須である。有害鳥獣対策とジビエの普及拡大をセットで推進することで、農村の活性化を図ることが重要であることから、これらを明記すべきではないかと。	基本目標2 地域経済を活性化させ、仕事をつくる 3 農林水産業の成長産業化 (2)京都産農林水産物のブランド戦略の強化 (記載なし) (8頁)	基本目標2 地域経済を活性化させ、仕事をつくる 3 農林水産業の成長産業化 (2)京都産農林水産物のブランド戦略の強化 <b>○有害鳥獣対策及びジビエのブランド展開の推進</b> (8頁)
7	「○京都と世界のクラフトを一堂に鑑賞、販売できる機会の提供」について、「アート」も追記すべきではないかと。	基本目標3 人々を惹きつけ、京都への新しい人の流れをつくる 1 文化力による交流の促進と地域活力の創出 (4)文化に関連する産業の振興と創造の促進 ○京都と世界のクラフトを一堂に鑑賞、販売できる機会の提供 (9頁)	基本目標3 人々を惹きつけ、京都への新しい人の流れをつくる 1 文化力による交流の促進と地域活力の創出 (4)文化に関連する産業の振興と創造の促進 ○京都と世界の <b>アート</b> やクラフトを一堂に鑑賞、販売できる機会の提供 (9頁)
8	地域の祭りや生活文化を次代にしっかりと引き継ぐことが重要であることから、生活文化の継承として、これらを明記すべきではないかと。	基本目標3 人々を惹きつけ、京都への新しい人の流れをつくる 1 文化力による交流の促進と地域活力の創出 (2)文化財の保存・継承・活用と伝統文化、生活文化の継承 (記載なし) (9頁)	基本目標3 人々を惹きつけ、京都への新しい人の流れをつくる 1 文化力による交流の促進と地域活力の創出 (2)文化財の保存・継承・活用と伝統文化、生活文化の継承 <b>○華道や祇園祭、節句等の京都の暮らし・文化の継承の推進</b> (9頁)

	パブリックコメント等の意見	京都府地域創生戦略中間案の記載	修正案
9	京都府内における観光消費額の増加を図るには、海外富裕層等の拡大が効果的と考えられることから、海外市場へのPRの強化を明記すべきではないか。	基本目標3 人々を惹きつけ、京都への新しい人の流れをつくる 2 魅力ある観光の創造と交流の促進 (1)周遊・滞在型観光の推進 (記載なし) (10頁)	基本目標3 人々を惹きつけ、京都への新しい人の流れをつくる 2 魅力ある観光の創造と交流の促進 (1)周遊・滞在型観光の推進 <b>○海外市場へのプロモーション等の強化</b> (10頁)
10	地域のコミュニティの再構築が必要な状況において、「コミュニティを核とした」という表現は見直すべきではないか。	基本目標3 人々を惹きつけ、京都への新しい人の流れをつくる 3 コミュニティを核とした移住・定住促進や関係人口の創出・拡大 (11頁)	基本目標3 人々を惹きつけ、京都への新しい人の流れをつくる 3 移住・定住促進や関係人口の創出・拡大による <b>コミュニティの再構築</b> (11頁)
11	「1 地域の発展の基盤づくり」(6)しなやかで安心・安全な地域づくりの施策はいずれもハード事業であり、ソフト事業も記載すべきではないか。	基本目標4 それぞれの個性を生かした魅力と活力のある地域をつくる 1 地域の発展の基盤づくり (6)しなやかで安心・安全な地域づくり (記載なし) (13頁)	基本目標4 それぞれの個性を生かした魅力と活力のある地域をつくる 1 地域の発展の基盤づくり (6)しなやかで安心・安全な地域づくり <b>○府・市町村の危機管理体制の充実による災害発生時の対応力等の強化</b> (13頁)
12	子どもが安心して通行できる交通環境の整備に加えて、急発進抑制装置装着の技術開発等が必要であるから、これを明記すべきではないか。	基本目標4 それぞれの個性を生かした魅力と活力のある地域をつくる 1 地域の発展の基盤づくり (6)しなやかで安心・安全な地域づくり ○子どもが安心して通行できる交通環境の整備 (13頁)	基本目標4 それぞれの個性を生かした魅力と活力のある地域をつくる 1 地域の発展の基盤づくり (6)しなやかで安心・安全な地域づくり ○子どもが安心して通行できる交通環境の整備 <b>と安全運転に資する技術開発・普及の推進</b> (13頁)

	パブリックコメント等の意見	京都府地域創生戦略中間案の記載	修正案
13	スポーツの普及は府民が生きがいを感じて活躍できる社会づくりになじむと考える。スポーツに関する記述を、横断的な目標1の「2 健康で心豊かな社会の実現」から、「1 府民の誰もが生きがいを感じて活躍できる共生社会づくり」に移すべきではないか。	横断的な目標1 多様な人材の活躍を推進する 1 府民の誰もが生きがいを感じて活躍できる共生社会づくり  (記載なし) (15頁)  2 健康で心豊かな社会の実現 (3) 誰もが親しみ夢が広がるスポーツの推進 ○府民が気軽に憩い、スポーツに親しむことができる施設等の整備 ○スポーツを通じた地域の活性化 ○国際大会でメダル獲得が可能なトップアスリートの育成 (16～17頁)	横断的な目標1 多様な人材の活躍を推進する 1 府民の誰もが生きがいを感じて活躍できる共生社会づくり <u>(2)スポーツを通じた府民の活躍の推進</u> <u>○府民が気軽に憩い、スポーツに親しむことができる施設等の整備</u> <u>○スポーツを通じた地域の活性化</u> <u>○国際大会でメダル獲得が可能なトップアスリートの育成</u> (15頁)  横断的な目標1 2 健康で心豊かな社会の実現 (16～17頁)
14	健康寿命の延伸に向けて、市町村と連携した健康づくりが重要であることから、その旨を明記すべきではないか。	横断的な目標1 多様な人材の活躍を推進する 2 健康で心豊かな社会の実現 (1) 健康寿命の延伸と医療体制の整備 ○府内全域における在宅医療から高度医療までの医療体制の整備 (16頁)	横断的な目標1 多様な人材の活躍を推進する 2 健康で心豊かな社会の実現 (1) 健康寿命の延伸と医療体制の整備 ○府内全域における <u>市町村と連携した健康づくりや在宅・高度医療までの医療体制の整備</u> (16頁)
15	「Society5.0の推進」の記述部分で、「犯罪・交通事故の起きにくい社会づくり」という項目を設定するのは違和感がある。AI等を活用した犯罪防御システムの高度化等も、(1)AI、IoTなどの未来技術の活用推進と基盤整備の施策ではないのか。	横断的な目標2 新しい時代の流れを力にする 1 地域におけるSociety5.0の推進 (1) AI、IoTなどの未来技術の活用推進と基盤整備・・・ (2) 犯罪・交通事故の起きにくい社会づくり ○AI等を活用した犯罪防御システムの高度化 ○GISを活用した交通事故の発生原因等の多角的な分析 (18頁)	横断的な目標2 新しい時代の流れを力にする 1 地域におけるSociety5.0の推進 (1) AI、IoTなどの未来技術の活用推進と基盤整備・・・  ○AI等を活用した犯罪防御システムの高度化 ○GISを活用した交通事故の発生原因等の多角的な分析 (18頁)
16	横断的な目標2「2 SDGsの実現など持続可能な社会づくり」という表題部分の施策は環境分野の施策が主に掲げられているが、SDGsは環境に限定した概念ではないことから、違和感がある。	横断的な目標2 新しい時代の流れを力にする 2 SDGsの実現など持続可能な社会づくり (1)・・・ (2)・・・ (19頁)	横断的な目標2 新しい時代の流れを力にする 2 <u>環境にやさしく</u> 持続可能な社会づくり (1)・・・ (2)・・・ (19頁)

●第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の閣議決定(令和元年12月20日)を踏まえた修正案

	第2期戦略の内容と修正案の考え方	京都府地域創生戦略中間案の記載	修正案
1	<p>国の第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の主な取組の方向性として、①東京一極集中の是正に向けた取組の強化、②2つの横断的な目標に基づく施策の推進、が打ち出された。</p> <p>→ 上記を踏まえて表現を修正</p>	<p>はじめに</p> <p>&lt;第2期地域創生戦略に向けて&gt;            …また、国の第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、第1期の4つの基本目標の枠組を維持しつつ、「地方へのひと・資金の流れを強化する」、「新しい時代の流れを力にする」、「誰もが活躍できる地域社会をつくる」などの新たな視点が示された上で、新たに2つの横断的な目標が盛り込まれ、これらに重点をおいて施策を推進することとされている。            …            (1頁)</p>	<p>はじめに</p> <p>&lt;第2期地域創生戦略に向けて&gt;            …また、国の第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、<u>地方移住の裾野の拡大に向けた関係人口の創出・拡大など、東京一極集中の是正に向けた取組が強化されるとともに、新たに「多様な人材の活躍を推進する」と「新しい時代の流れを力にする」という2つの横断的な目標に基づく</u>施策を推進することとされている。            …            (1頁)</p>
2	<p>第2期の主な取組の方向性のひとつである「東京一極集中の是正に向けた取組の強化」において、「関係人口の創出・拡大」と併せて、「企業版ふるさと納税の拡充」が打ち出された。</p> <p>→ 上記を踏まえて基本目標3の数値目標として、「企業版ふるさと納税を活用した寄附額」による目標を設定</p>	<p>基本目標3 人々を惹きつけ、京都への新しい人の流れをつくる</p> <p>数値目標 京都府内における国際会議開催件数 450件(令和5年)            参考:367件(平成30年)            (9頁)</p>	<p>基本目標3 人々を惹きつけ、京都への新しい人の流れをつくる</p> <p>数値目標 <u>企業版ふるさと納税を活用した寄附額(累計) 5億円(令和6年度)</u>  <u>参考: 11,256千円(平成28～30年度)</u>            (9頁)</p>

●中間案で「検討中」としていた数値目標の設定

	数値目標の設定の考え方	京都府地域創生戦略中間案の記載	修正案
1	京都府総合計画及び京都府子育て環境日本一推進戦略において、「2040年に全国平均並みの合計特殊出生率をめざす」とされたことを踏まえて設定	基本目標1 結婚・出産・子育ての希望がかなう、子育てにやさしい社会をつくる 数値目標 ※戦略独自の出生関連目標を検討 (4頁)	基本目標1 結婚・出産・子育ての希望がかなう、子育てにやさしい社会をつくる 数値目標 <u>合計特殊出生率 2040年に「全国平均並み」を目指して、着実に推進(令和5年)</u> <u>参考:平成30年 京都府1.29 全国 1.42</u> (4頁)
2	国の第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」においても、東京一極集中の是正に向けて、第1期に引き続き、「地方と東京圏との転入・転出を均衡」が目標設定されたことを踏まえ、府の戦略においても引き続き人口の社会増(転入超過)を目標に設定	基本目標3 人々を惹きつけ、京都への新しい人の流れをつくる 数値目標 ※戦略独自の人口関連(関係人口含む)目標を検討 (9頁)	基本目標3 人々を惹きつけ、京都への新しい人の流れをつくる 数値目標 <u>人口の社会増(転入超過)(令和5年)</u> <u>参考:平成30年 ▲2,536人の社会減(転出超過)</u> (9頁)
3	京都府スマート社会推進計画(仮称)最終案において、府内5G基盤展開率が設定されることを踏まえて設定	横断的な目標2 新しい時代の流れを力にする 数値目標 ※戦略独自の目標を検討 (18頁)	横断的な目標2 新しい時代の流れを力にする 数値目標 <u>府内5G基盤展開率(※) 99.0%</u> <u>(令和5年度)</u> <u>参考:令和元年度 ー</u> <u>(※)無人地帯などを除いた10キロメートル四方の区画ごとに高度特定基地局(親局)が置かれた比率</u> (18頁)